

株式会社 鈴木

2022年6月期
決算説明資料

August 23, 2022

MICRON
&
ELECTRON

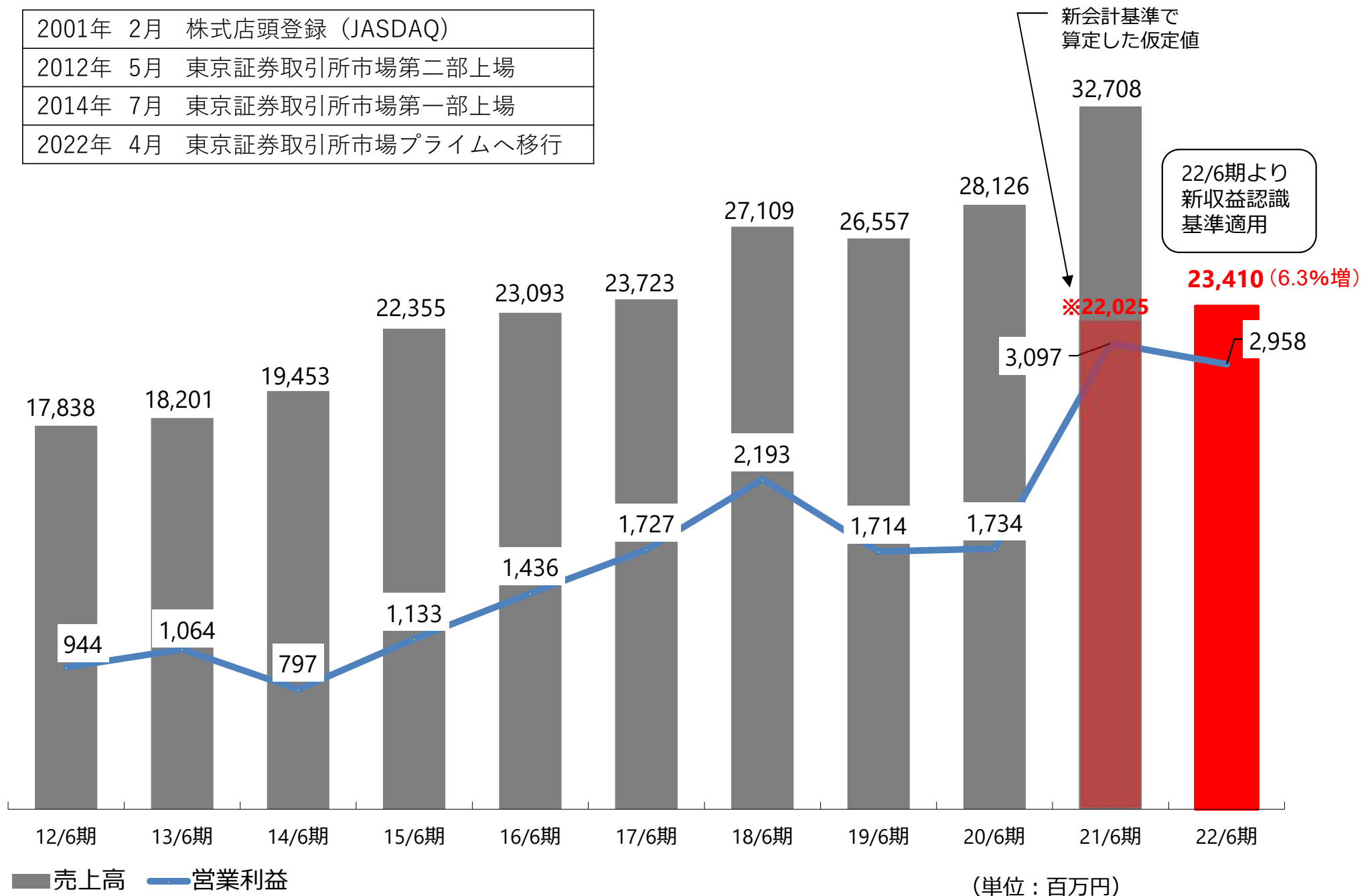


SUZUKI CO.,LTD.

東証プライム code:6785

2022年6月期 業績説明

2001年 2月	株式店頭登録 (JASDAQ)
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場
2022年 4月	東京証券取引所市場プライムへ移行



- 2022年6月期の営業利益は前期比で4.5%減少
- 金型セグメント：電子機器向け金型が増加し、生産効率が改善したことにより増益
- 部品セグメント：電子部品コネクタは、車載・産機向けの受注は増加したが、減価償却費増加により減益
自動車電装コネクタは、4月以降自動車減産の影響を受けて減速し減益
- 機械器具セグメント：自動機器は、受注は堅調に推移したが、購入部材の長納期化により生産効率低下で減益
医療組立は、生産数量は前年より増加したが、外注工賃等の製造原価が上昇して減益

※当期より新収益認識会計基準を適用しております。

参考として前年同期実績を新会計基準で算出した仮定値を（ ）で記載しています。

(単位：百万円)

	2021年6月期		2022年6月期		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	32,708 (22,025)	-	23,410	-	- (1,385)	- (6.3)
売上総利益	4,993	15.3	4,989	21.3	△3	△0.1
営業利益	3,097	9.5	2,958	12.6	△139	△4.5
経常利益	3,379	10.3	3,371	14.4	△8	△0.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,051	6.3	2,087	8.9	36	1.8

連結事業別セグメント情報

従来「その他」としていた賃貸事業、売電事業について量的な重要性が増したため、報告セグメント「賃貸」としております。

4

セグメント別売上高 計画と実績

※計画は2022年5月12日予想修正値

(単位：百万円)

	2022年6月期 計画		2022年6月期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	1,558	6.6	1,536	6.6	△22	△1.4
■ 部品	16,005	68.3	16,006	68.4	2	0.0
■ 電子部品コネクタ	14,850	63.3	14,840	63.4	△9	0.0
■ 自動車電装部品コネクタ	1,155	4.9	1,166	5.0	11	1.0
■ 機械器具	5,855	25.0	5,859	25.0	5	0.1
■ 賃貸	7	0.0	7	0.0	0	0.0
合計	23,448	100	23,410	100	△38	0.1

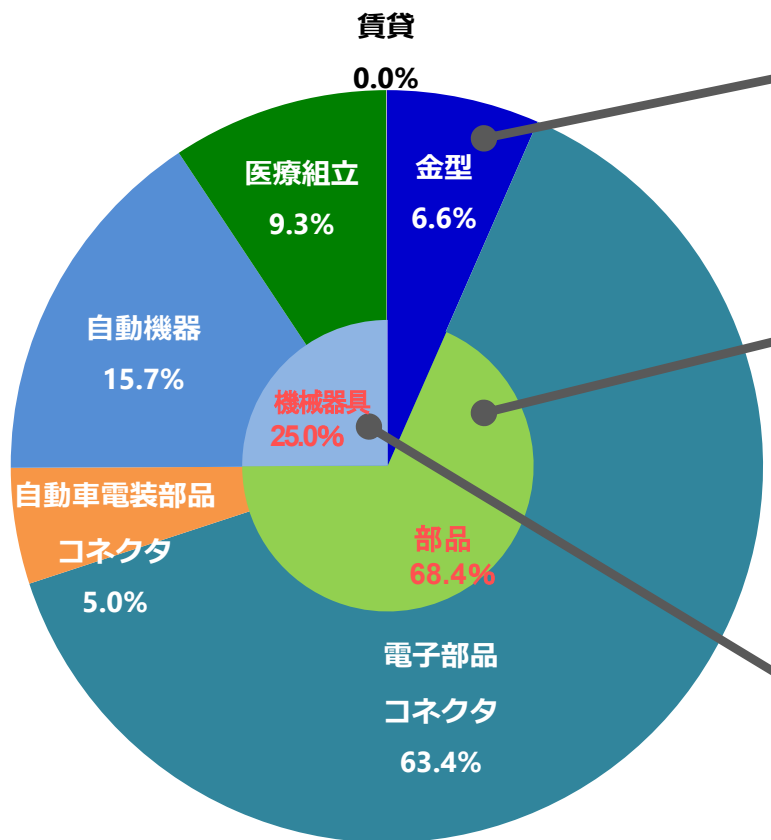
セグメント別売上高 前期比較

※当期より新収益認識会計基準を適用しております。

参考として前年同期実績を新会計基準で算出した仮定値を () で記載しています。(単位：百万円)

	2021年6月期 実績		2022年6月期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	1,372	4.2 (6.2)	1,536	6.6	164	12.0
■ 部品	24,770 (15,167)	75.7 (68.9)	16,006	68.4	(840)	(5.5)
■ 電子部品コネクタ	16,404 (13,867)	50.2 (63.0)	14,840	63.4	(974)	(7.0)
■ 自動車電装部品コネクタ	8,367 (1,300)	25.6 (5.9)	1,166	5.0	(△134)	(△10.3)
■ 機械器具	6,554 (5,474)	20.0 (24.9)	5,859	25.0	(386)	(7.0)
■ 賃貸	10	0.0	7	0.0	△3	△29.8
合計	32,708 (22,025)	100	23,410	100	(1,385)	(6.3)

2022年6月期 セグメント別売上高構成



【金型セグメント】

- 電子機器向け金型がスマートフォン関連や民生コネクタを中心に堅調に推移
- 売上高 1,536百万円、前年比12.0%増（新会計基準の影響無し）
- セグメント利益 317百万円、前期比58.8%増

【部品セグメント】

- 電子部品コネクタは、車載向けや産機向けが好調に推移
売上高14,840百万円（前期売上実績を新会計基準で比較すると、7.0%増）
利益面では車載部品の設備減価償却費が増加して減益
- 自動車電装部品コネクタは、4月以降自動車減産の影響を受け減速
売上高1,166百万円（前期売上実績を新会計基準で比較すると、10.3%減）
- セグメント利益 2,987百万円、前期比5%減

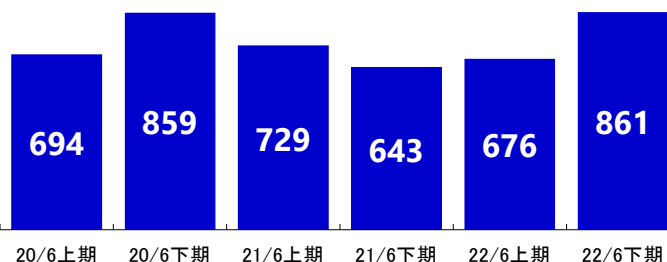
【機械器具セグメント】

- 自動機器は、自動車関連装置の受注が堅調に推移
売上高3,683百万円、前期比8.5%増（新会計基準の影響無し）
利益面では購入部材の長納期化により生産効率が低下して減益
- 医療組立は、全体の出荷数量は前年より増加
（前期上実績を新会計基準で比較すると、4.7%増）
利益面では外注工賃や労務費など製造原価が上昇して減益
- セグメント利益 610百万円、前期比18.2%減

金型セグメント

■ 金型

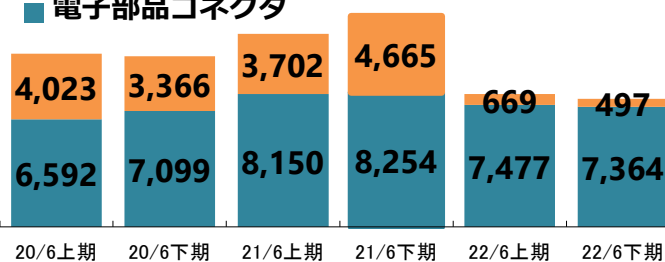
（単位：百万円）



部品セグメント

■ 自動車電装部品コネクタ ■ 電子部品コネクタ

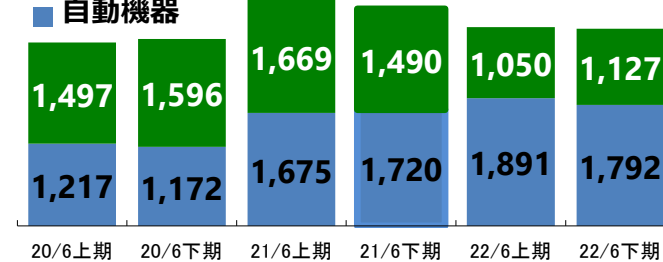
（単位：百万円）



機械器具セグメント

■ 医療組立 ■ 自動機器

（単位：百万円）



連結貸借対照表

6

(単位：百万円)

	21年6月期	22年6月期	増減額
流動資産	12,774	14,385	1,610
現金及び預金	3,366	4,149	782
受取手形及び売掛金	5,764	5,983	219
たな卸資産	3,384	3,386	2
固定資産	16,034	17,878	1,842
有形固定資産	14,328	16,093	1,764
無形固定資産	102	94	△7
投資その他の資産	1,603	1,689	85
資産合計	28,808	32,262	3,453
流動負債	7,640	7,656	16
買掛金+契約負債+前受金	3,898	4,001	102
未払法人税等	633	488	△145
未払消費税等	163	253	89
固定負債	1,503	2,890	1,387
長期借入金	113	1,534	1,421
純資産	19,664	21,714	2,049
負債及び純資産合計	28,808	32,262	3,453

財務体質は
健全な水準を維持

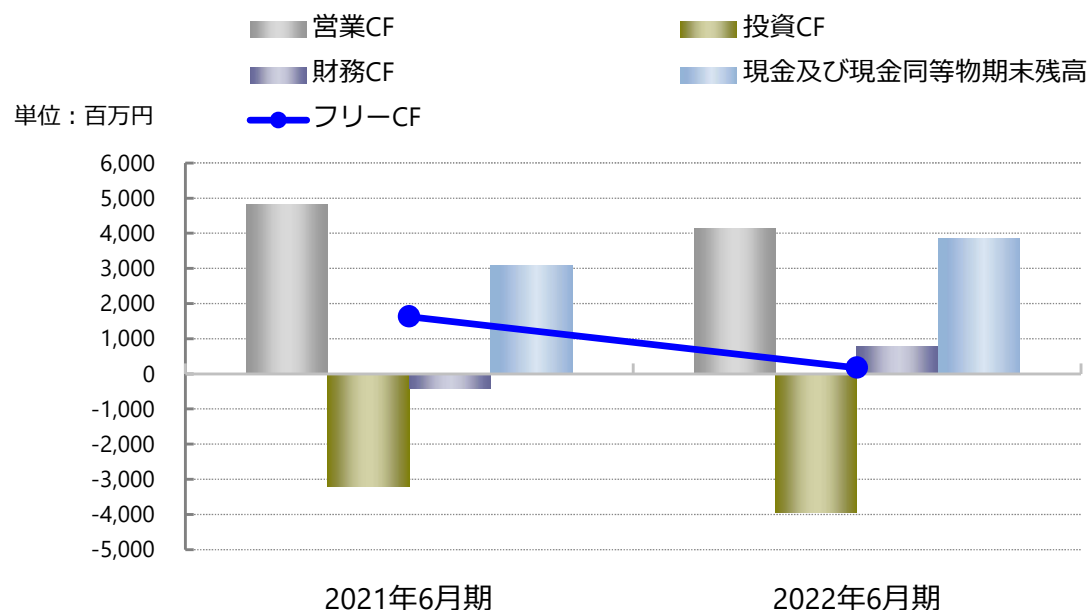
	21/6期 期末	22/6期 第2四半期
短期借入金	1,616	1,397
一年内返済予定 長期借入金	274	478

	21/6期 期末	21/6期 第2四半期
有利子負債	2,004	3,410

	21/6期 期末	21/6期 第2四半期
流動比率	167.2%	175.2%
当座比率	119.5%	118.0%
固定比率	83.5%	82.4%
自己資本比率	66.7%	65.7%

連結キャッシュフロー計算書

7



(単位：百万円)

	2021年 6月期	2022年 6月期
営業活動によるキャッシュフロー	4,830	4,121
投資活動によるキャッシュフロー	△3,207	△3,953
フリーキャッシュフロー	1,623	167
財務活動によるキャッシュフロー	△403	790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△213	△175
現金及び現金同等物の増減額	1,006	782
現金及び現金同等物の期末残高	3,078	3,861

【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税 引 前 当 期 純 利 益	3,374百万円
減 価 償 却 費	2,344百万円
法 人 税 等 の 支 払 額	△1,145百万円
有償支給に係る資産の増減額 (増：△)	△611百万円
仕入債務の増減額 (減：△)	△140百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△3953百万円
----------------	----------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

長 期 借 入 金 に よ る 収 入	2,000百万円
短 期 借 入 金 の 純 減 少 額	△309百万円
配 当 金 の 支 払 額	△287百万円
非 支 配 株 主 へ の 配 当 金 の 支 払 額	△202百万円

事業状況

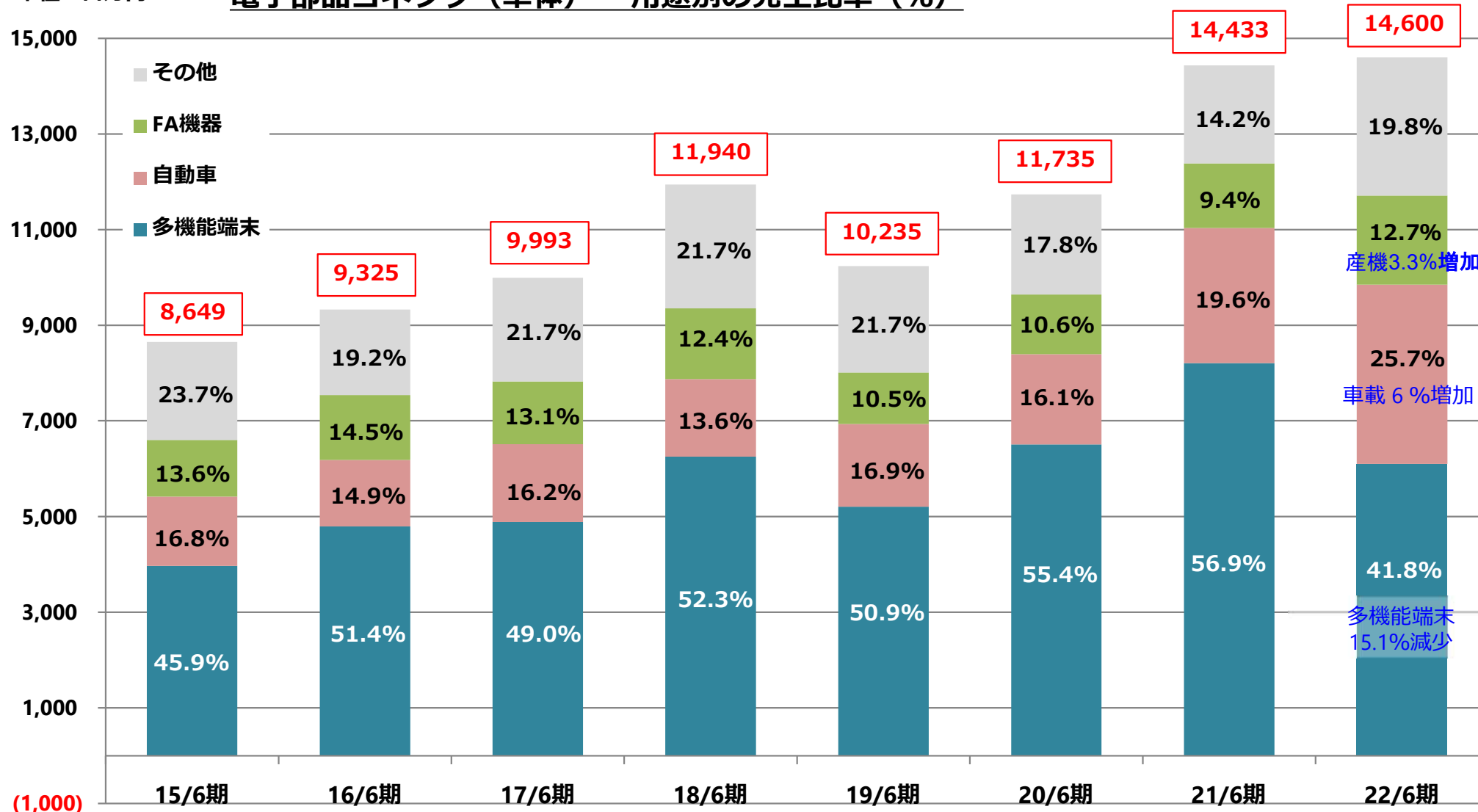
独自技術と融合技術の深化

単位：百万円

電子部品コネクタ（単体）

用途別の売上比率（%）

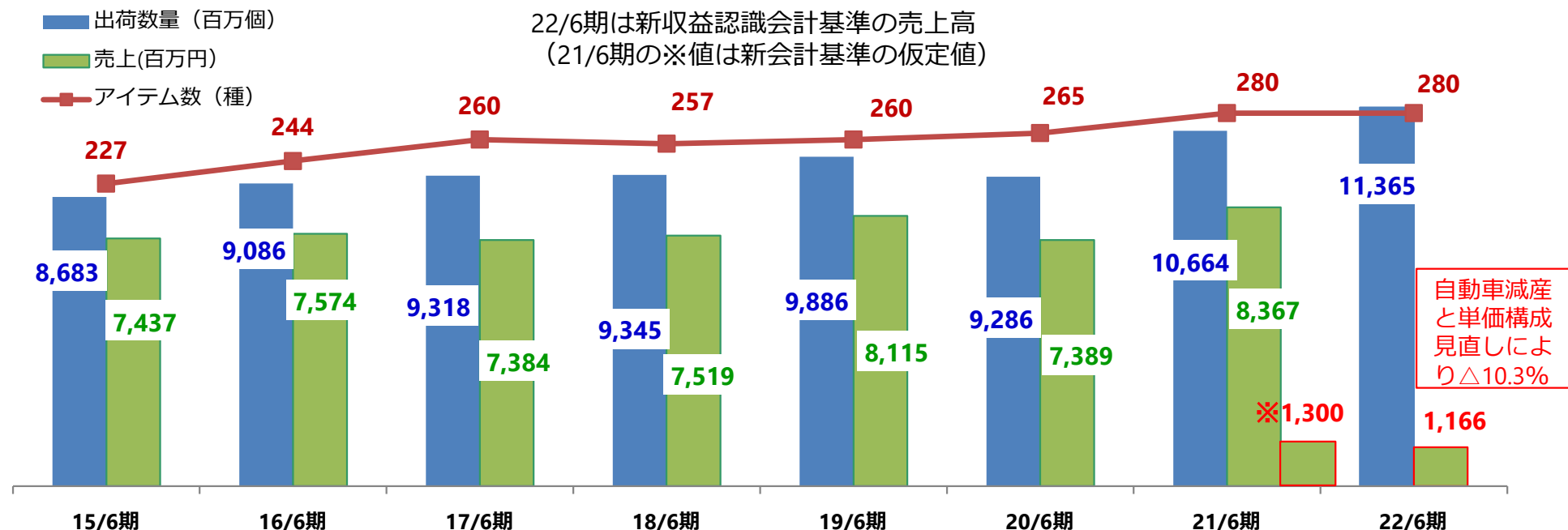
※22/6期は旧会計基準で比較



(1,000)

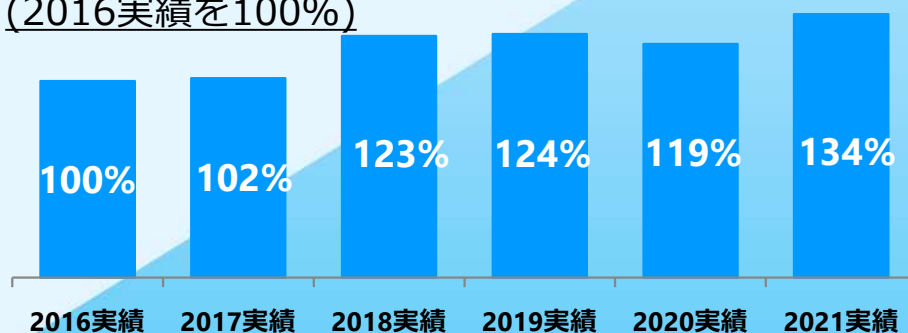
継続的な事業拡大を目指します

売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



顧客のグローバル販売数量推移

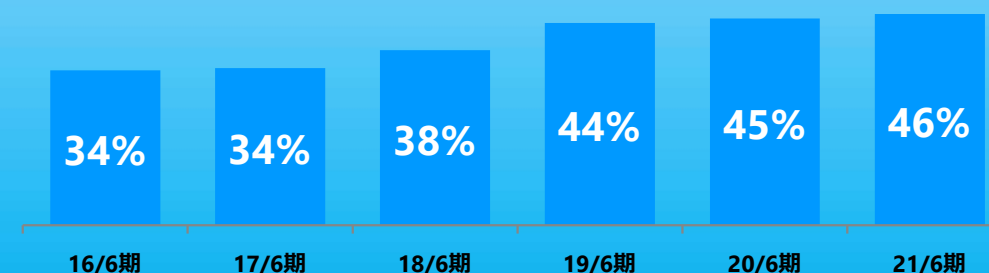
(2016実績を100%)



顧客内シェア推移

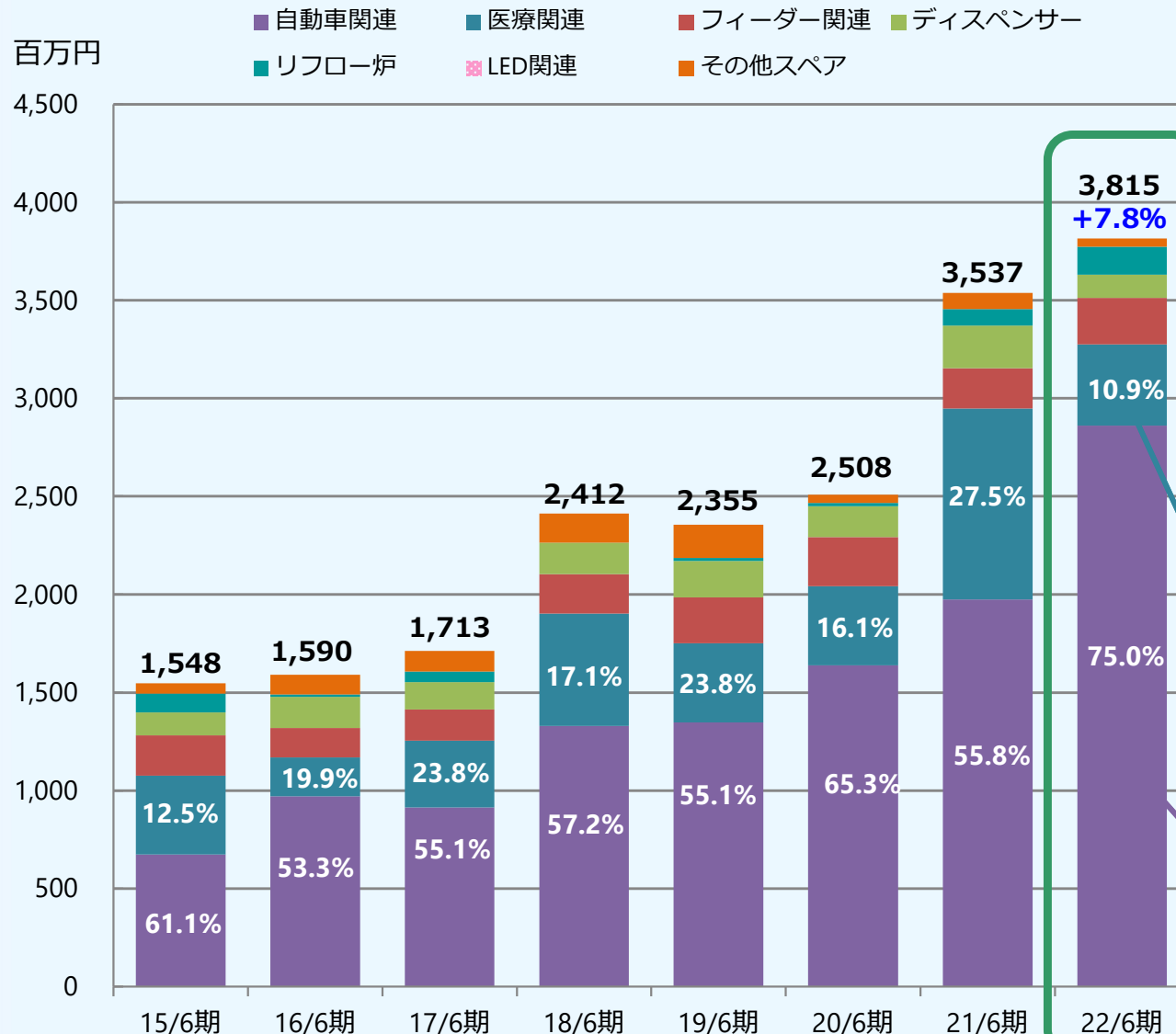
金型技術、量産技術を背景に
シェアを維持

※ 顧客の国内の仕入先における生産数量から算出

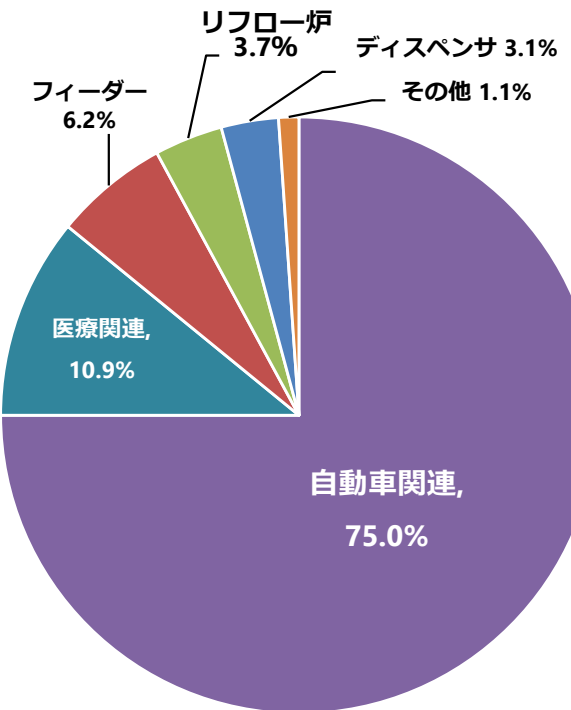


技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

売上(社内売買含)推移と構成比率



22/6期2Q 売上構成比率



医療関連

子会社(イメージ)向け医療組立用の自動化・省力化装置などを、開発・製造。当期は子会社増床の量産設備設置が完了し、省力化用装置の開発に注力しています。

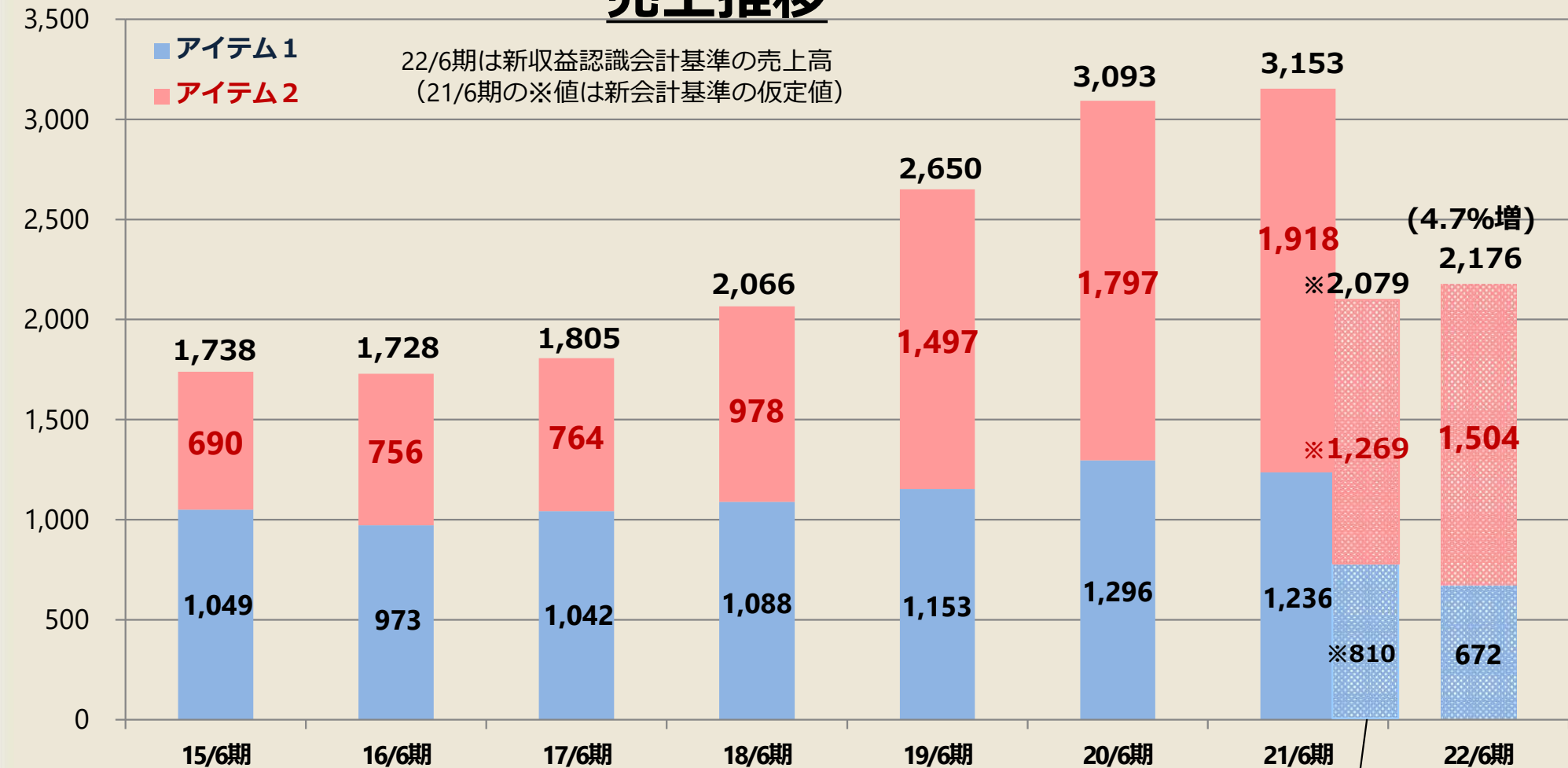
自動車関連 (S&S-AT)

自動車ワイヤーハーネス組立装置などを開発・製造しており、堅調に推移しています。

受注拡大により更なる安定事業に発展

単位：百万円

売上推移



※新会計基準仮定値

2017年 アイテム2
生産フロア拡充、ライン増設

2019年 アイテム2
1品種追加、ライン増設

2022年 アイテム2
新工場の増設ライン稼働開始

2023年6月期 予想

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2022年6月期		2023年6月期予想		増減		
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	金額比%	構成比%
■ 金型	1,536	6.6	1,763	5.9	227	14.8	△0.7
■ 部品	16,006	68.4	21,477	72.4	5,471	34.2	4.0
■ 電子部品コネクタ	14,840	63.4	17,857	60.2	3,017	20.2	△3.2
■ 自動車電装部品コネクタ	1,166	5.0	※3,620	12.2	2,455	210.5	7.2
■ 機械器具	5,859	25.0	6,401	21.6	542	9.2	△3.4
■ 賃貸	7	0.0	8	0.0	1	0.2	0.0
合計	23,410	100.0	29,648	100.0	6,238	26.6	

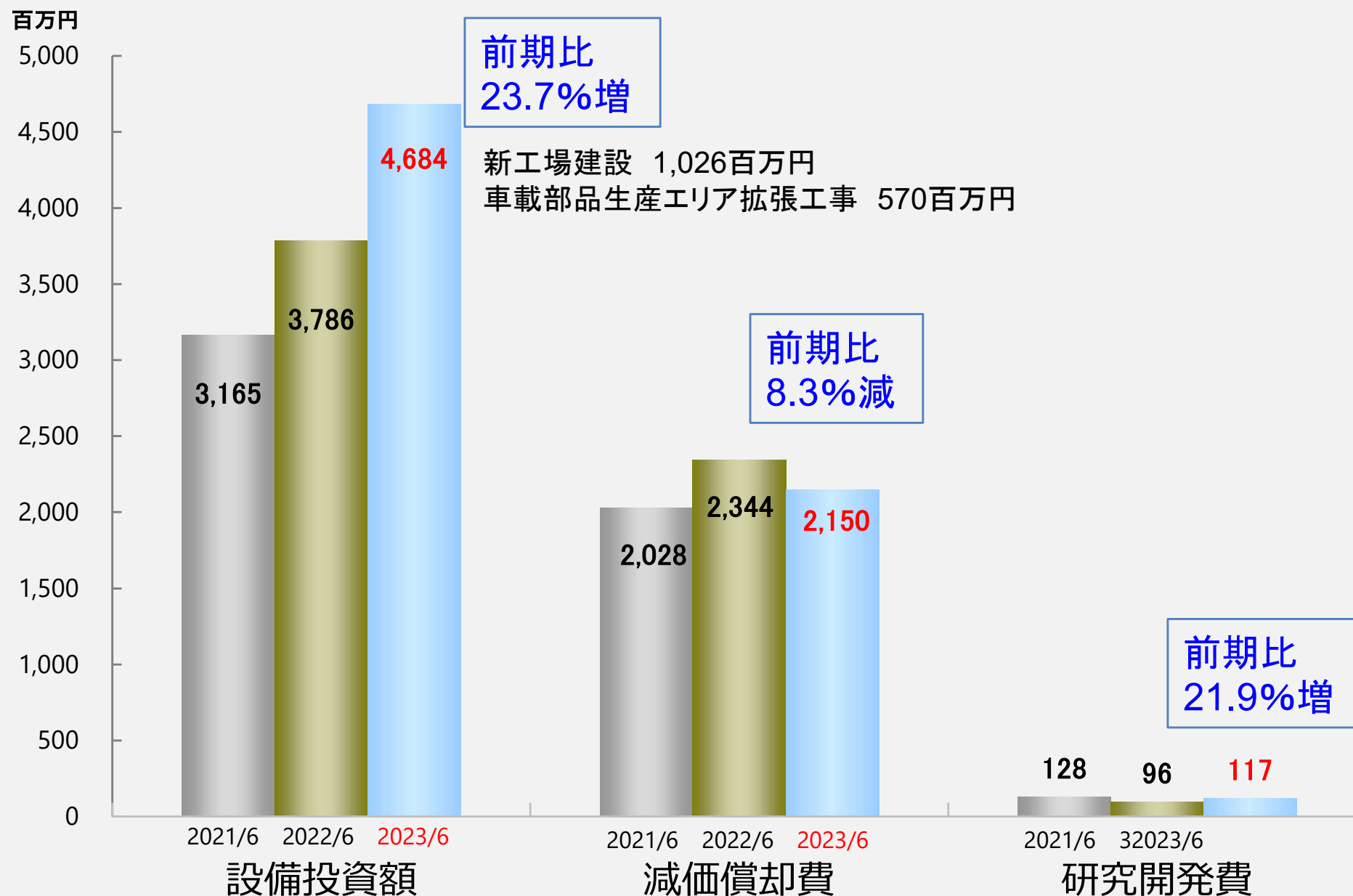
※販売単価構成の見直しに伴い、より取引実態を適切に表示するために、前期では売上と認識していないスクラップ評価益を売上加えます。(仕入と相殺するので利益への影響はありません)

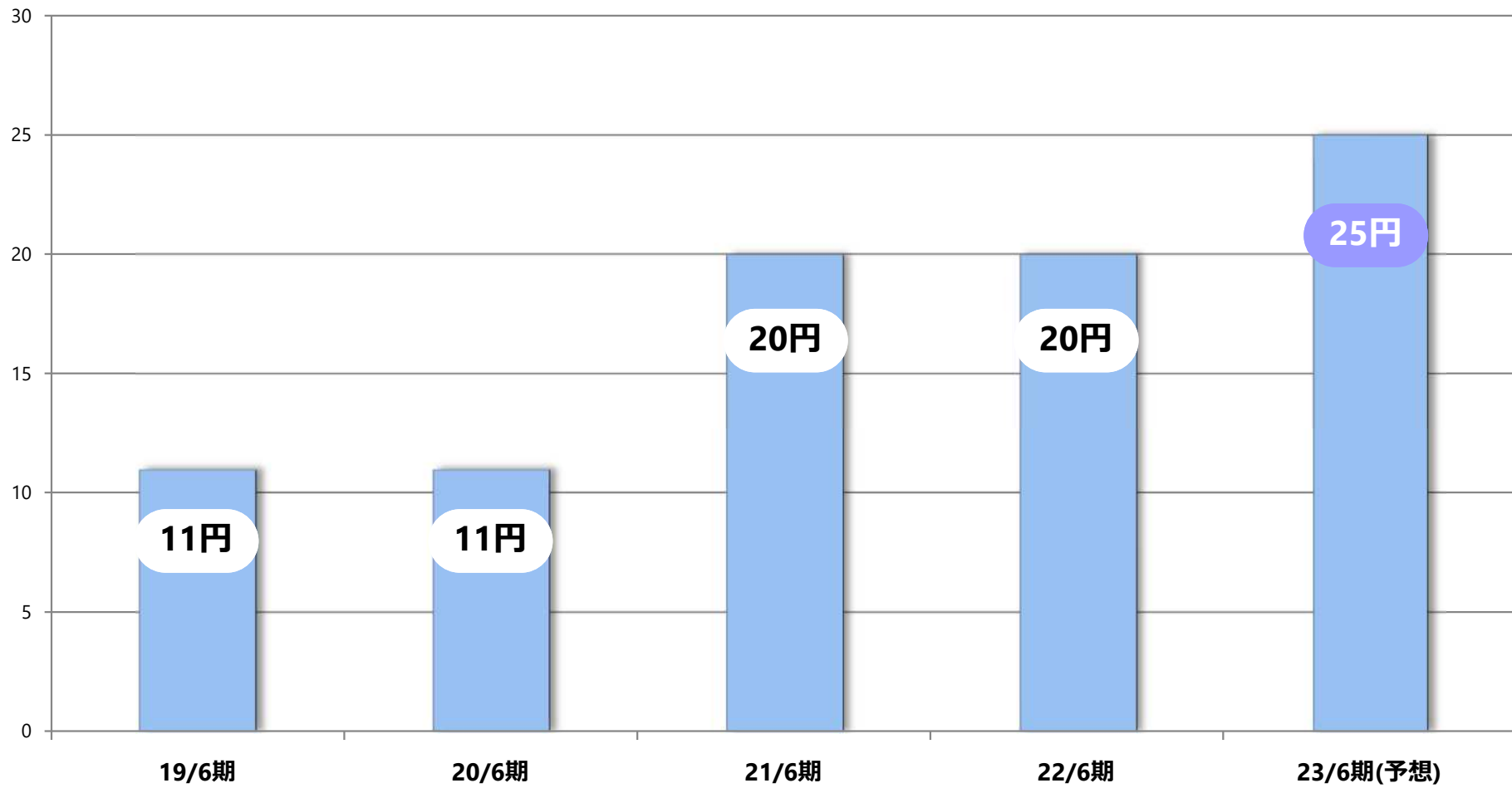
尚、前期実績にスクラップ評価益を加えて算定すると3,374千円で、2023年6月期は7.3%増となります。

(単位：百万円)

通期業績予想

	2022年6月期		2023年6月期予想		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	23,410	-	29,648	-	6,238	26.6
営業利益	2,958	12.6	3,235	10.9	277	9.4
経常利益	3,371	14.4	3,236	10.9	△135	△4.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,087	8.9	2,062	7.0	△25	△1.2





中期経営計画

当社が注力する新領域成長事業

医療組立の収益力向上

- ・増産計画に沿った生産キャパ拡大
- ・自社製の省人化装置の導入

自動車関連装置の拡大

- ・次世代ハーネス組立装置の開発・製造

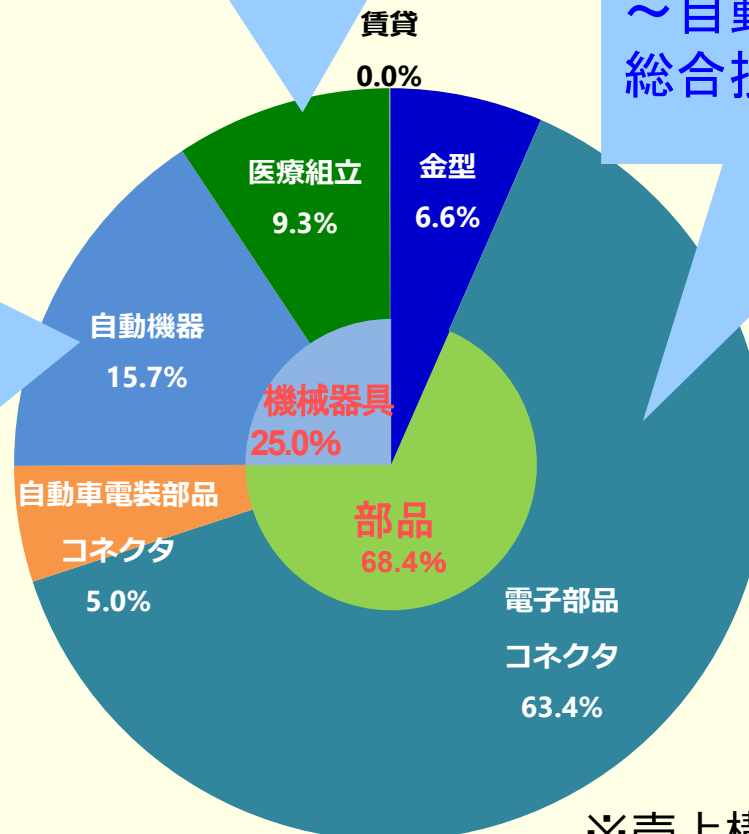
LED実装機の市場投入

- ・海外顧客へのアプローチ
- ・性能向上開発

車載部品ビジネスの拡大

- ・電池部品
- ・安全性能部品
- ・快適性能部部品

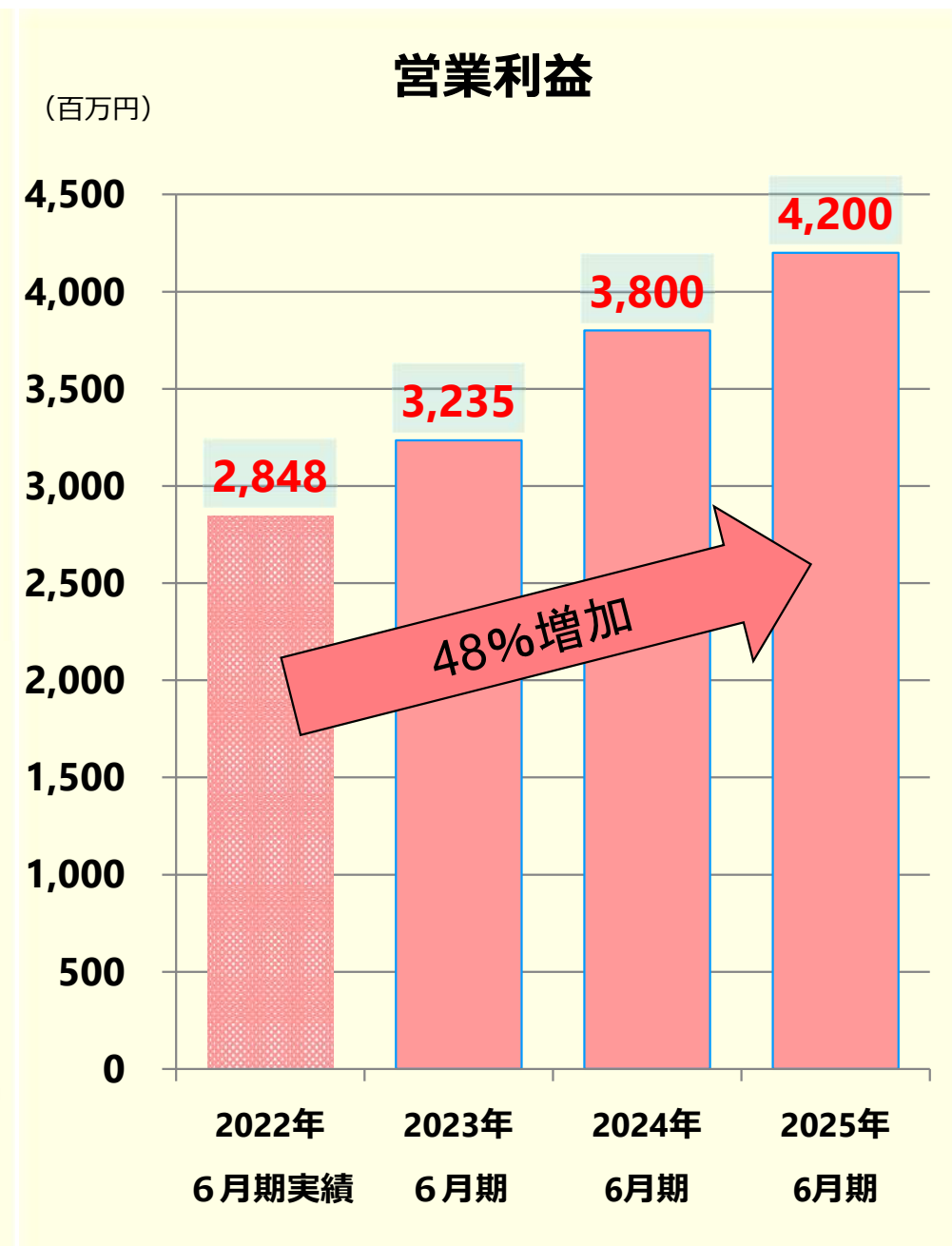
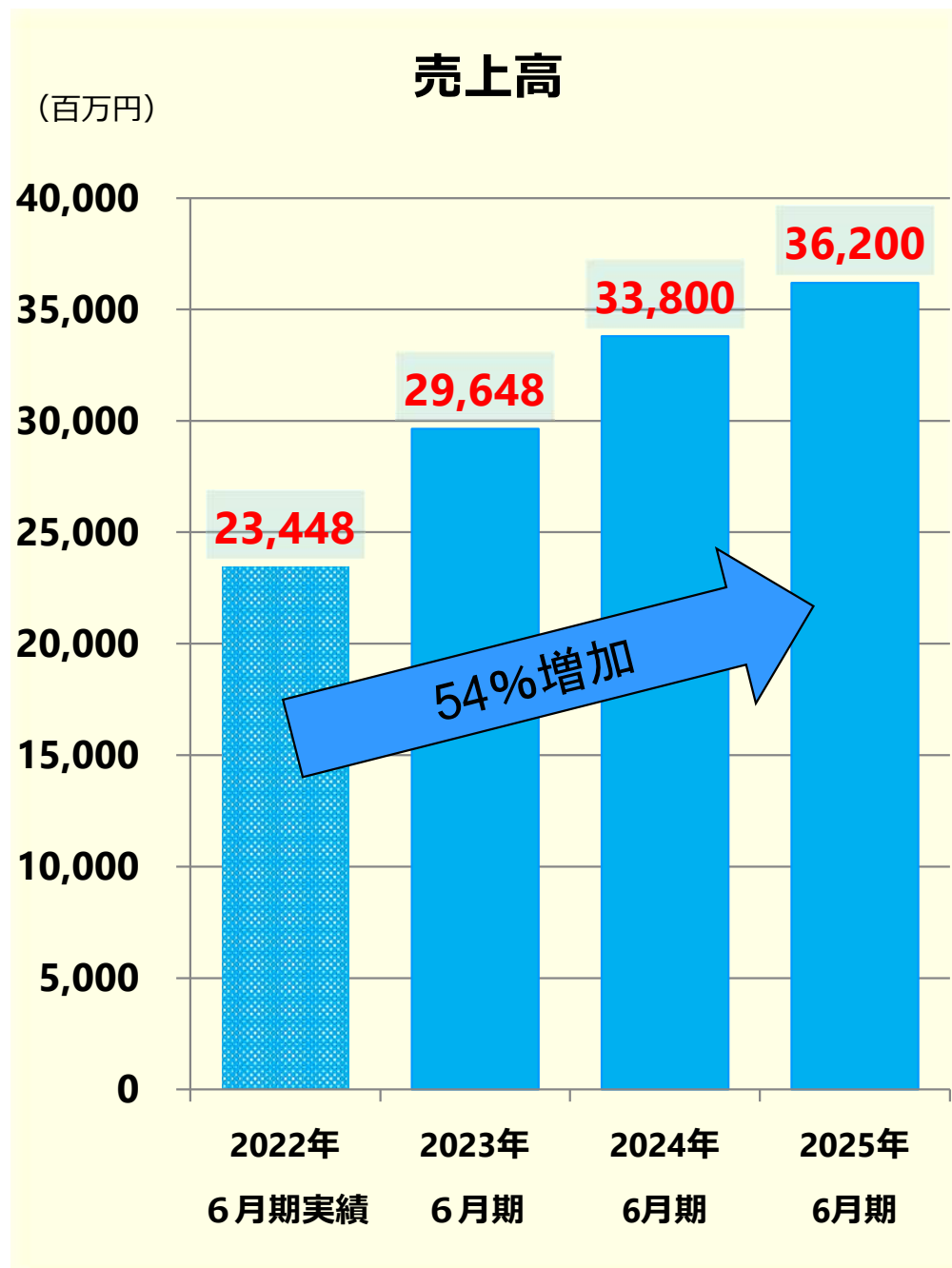
金型～プレス～めっき～成形
～自動検査・梱包の
総合技術で優位性を保つ

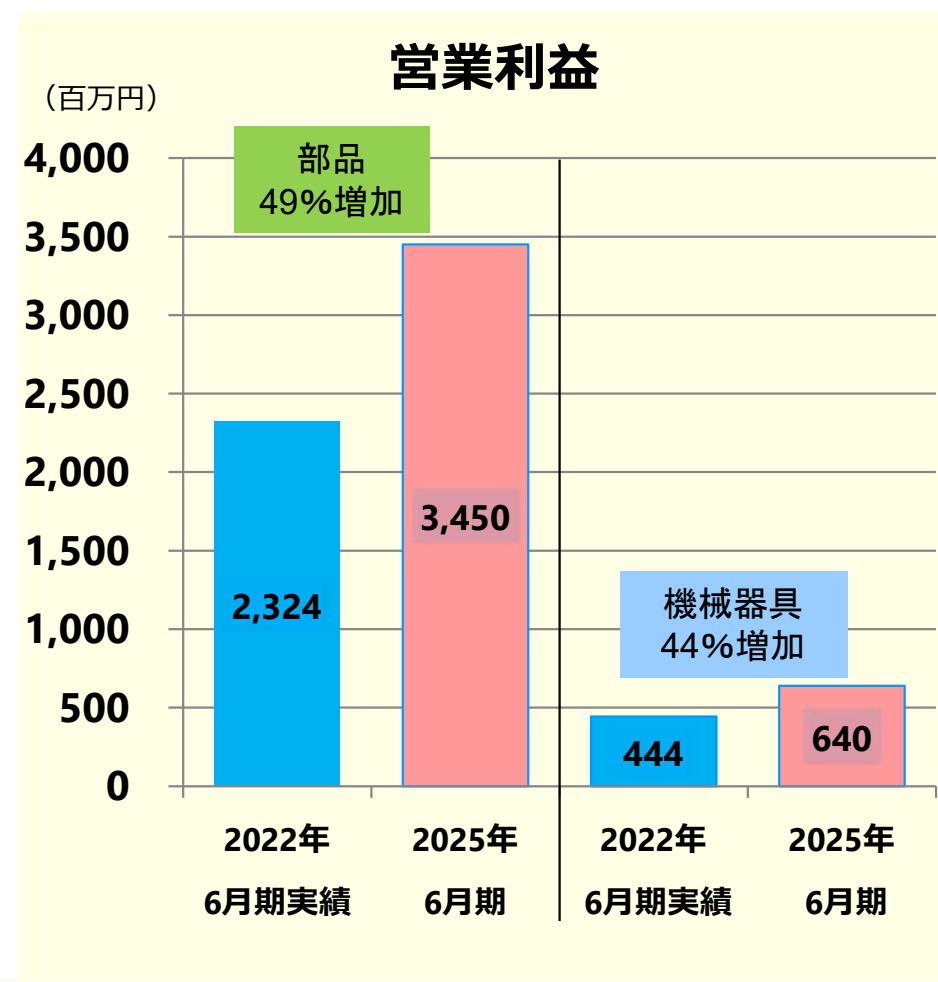
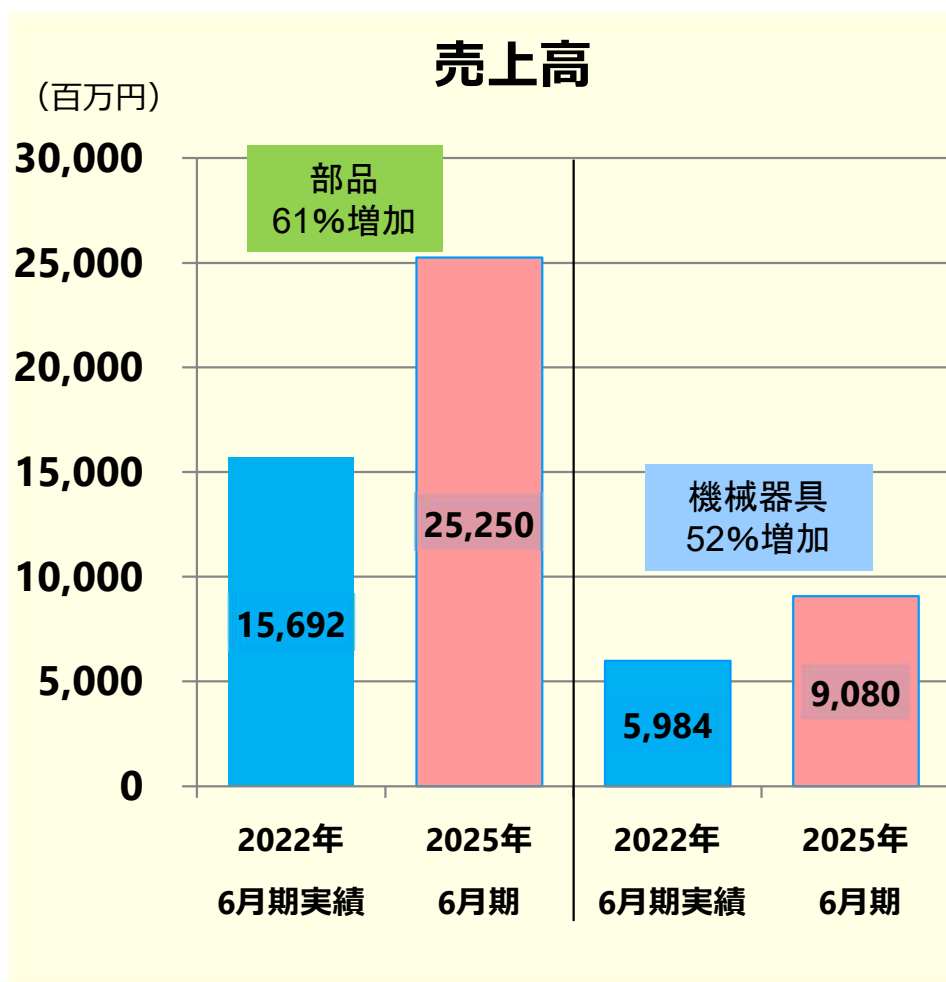


※売上構成比（2022年6月期実績）

中期経営目標（売上高、営業利益）

19





主要な部品セグメントと機械器具セグメントを三ヶ年で拡大

・部品セグメント取組み

- ①スマートフォン向け部品など既存製品のシェア拡大 ②自動車部品事業（電池部品など）への継続的投資と利益回収

・機械器具セグメント取組み

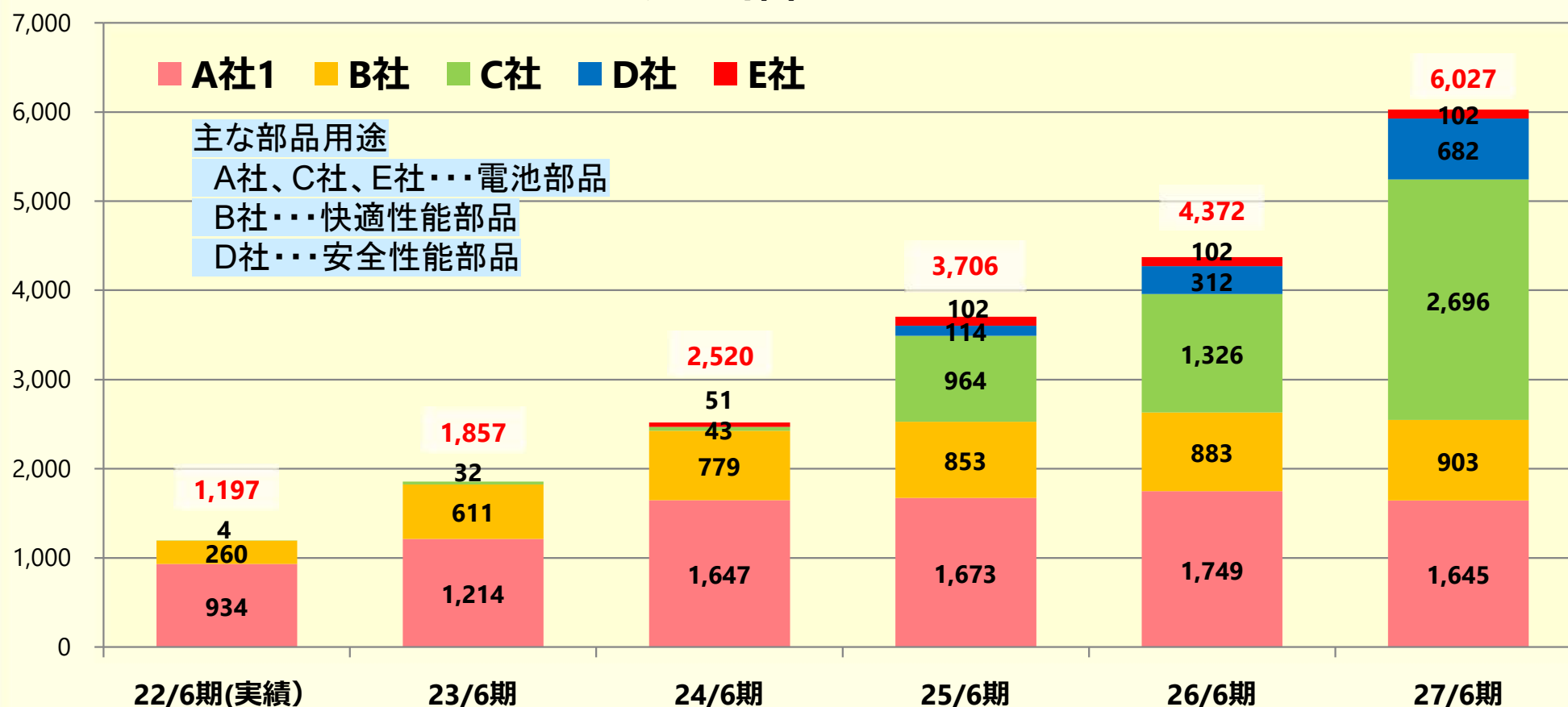
- ①新工場での自動車ワイヤーハーネス製造装置の生産能力を拡大 ②LEDフリップチップ実装機の市場投入

★ Tier1（ティアワン）向け車載部品ビジネス （二次電池向け部品事業を含む）

- ・ A社のトヨタ車向けリチウム電池部品（ヤリス等に搭載）は順調に拡大していく計画です。
- ・ C社向けのリチウム電池部品を2025年より生産を開始します。

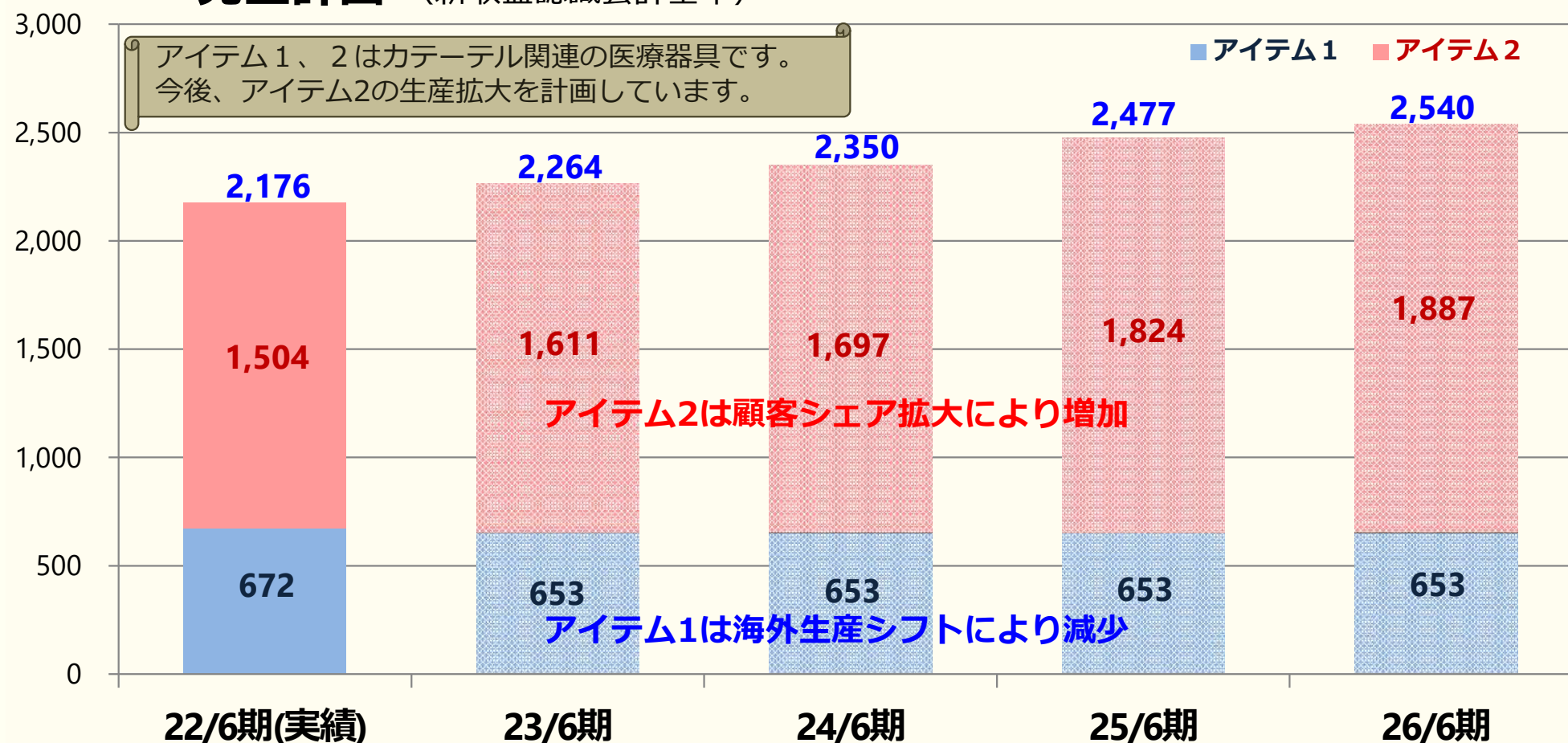
単位：百万円

売上計画（現時点での生産アイテムおよび受注予定アイテム）



★医療組立の今後の展望について

単位：百万円 **売上計画**（新収益認識会計基準）



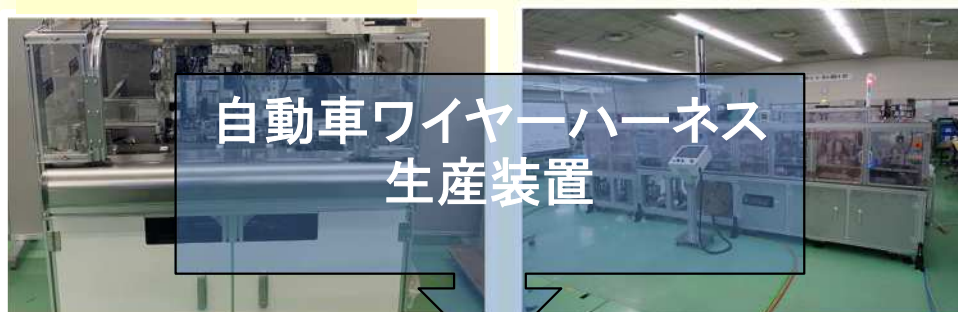
アイテム2は、自社製の自動化設備を開発・導入し、収益拡大を目指します。

★ 自動機器事業は自動車関連装置が拡大

2022年12月より新工場（須坂インター工場）の稼働開始



主な生産装置



自動車ワイヤーハーネス
生産装置

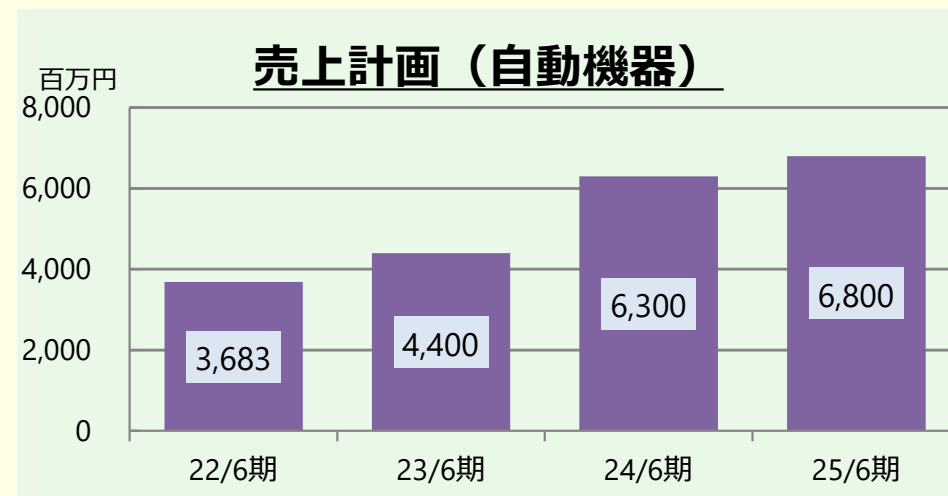
客先最終製品
イメージ



車載電池部品生
産装置（社内用）



医療関連部品
製造装置
（社内用）



この他に、基板実装ディスペンサー、リフロー炉、各種専用機を製造

最新ニュース

Mini LED フリップチップ実装機
量産タイプ【BDM-3000】の販売を目指します

新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外で予定していた展示会が中止になるなど、拡販スケジュールが遅れています。

メインターゲットは中国市場ですが、現在、韓国大手メーカー数社へ装置を貸与して、性能評価を行ってもらう計画を進めています。

【BDM-1000】（デモタイプ）のプロモーションビデオをYouTubeにアップしています。

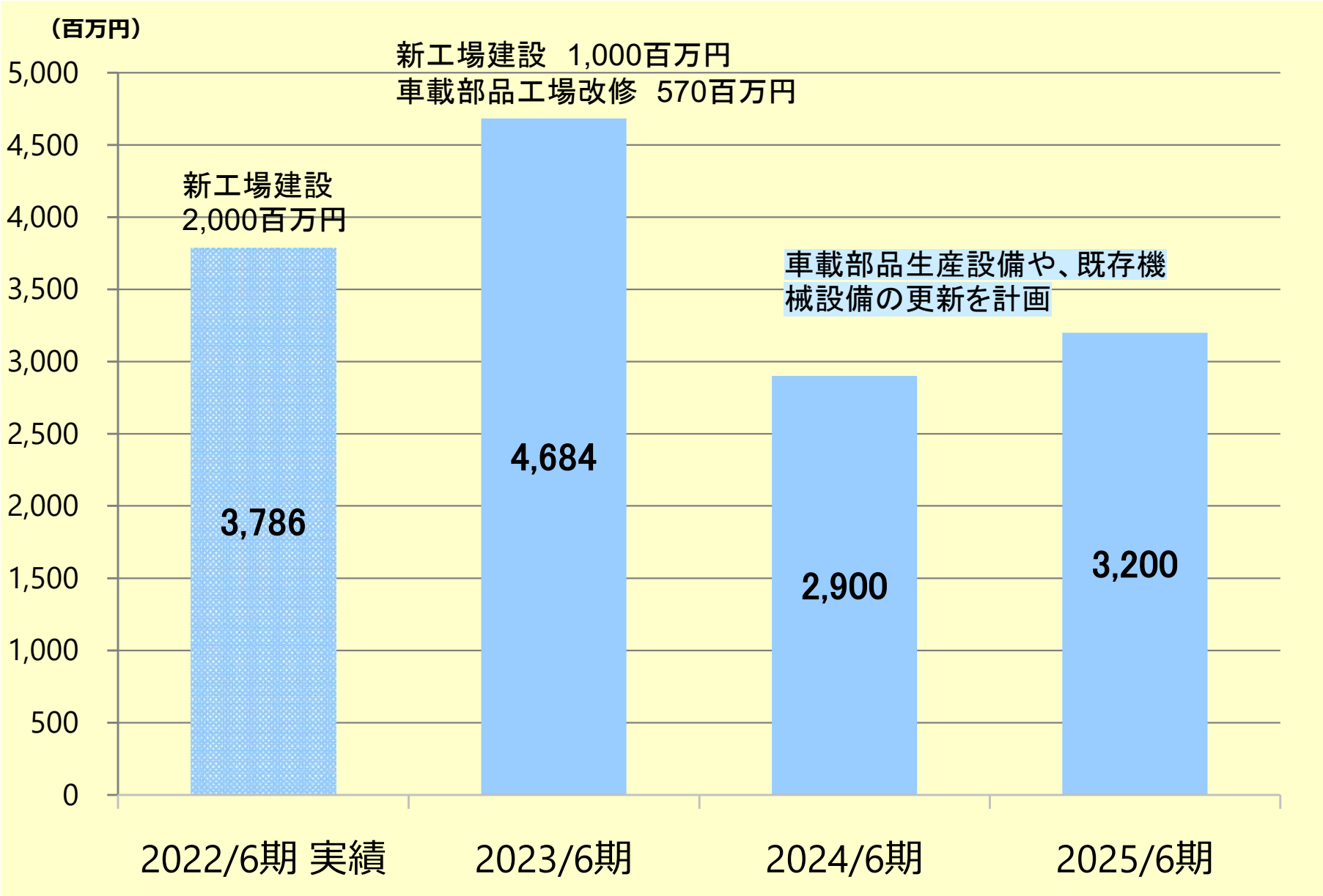
<https://www.youtube.com/watch?v=N9kfZv1YIJE>

【BDM-3000】（量産タイプ）のキックオフビデオをYouTubeにアップしています。

[Mini LED wafer direct flip chip shooter BDM 3000 - YouTube](#)

販売ターゲットは、LCDディスプレイ用ローカルデミングバックライト市場
（バックライトを細分化してコントラスト向上）





Being an “Only-One Company”

本資料は、2022年6月期の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年6月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp

代表取締役社長
管理本部経理部長



参 考 資 料

経 営 理 念

商 号

創 立

本 社

上 場

代 表 者

事 業 内 容

資 本 金

発 行 済 株 式 数

関 連 会 社
(連結子会社)

従 業 員

「不への挑戦」 微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

1933年6月10日

長野県須坂市大字小河原2150-1

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

2022年4月4日 同 プライム市場へ移行 証券コード：6785

代表取締役社長 鈴木 教義

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・
モールド金型 および医療関連器具の製造・販売

24億4,245万円

14,404,400株（100株単位）

〔国内〕 S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）

S&Sアドバンステクノロジー株式会社（持株比率：51.0%）

エスメディカル株式会社（持株比率：100.0%）

〔国外〕 中国：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）

鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）

インドネシア：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：99.9%）

PT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMA（持株比率：93.6%）

【連結】 1,086名

【単体】 491名

※ 2022年6月末現在

●大株主情報

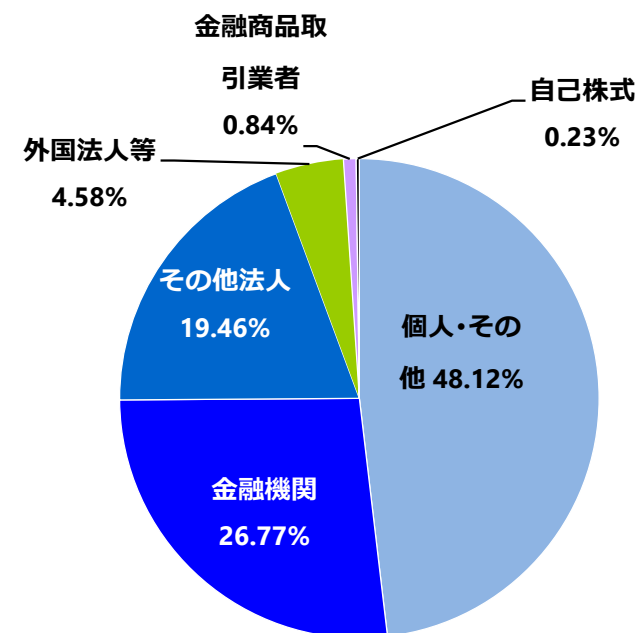
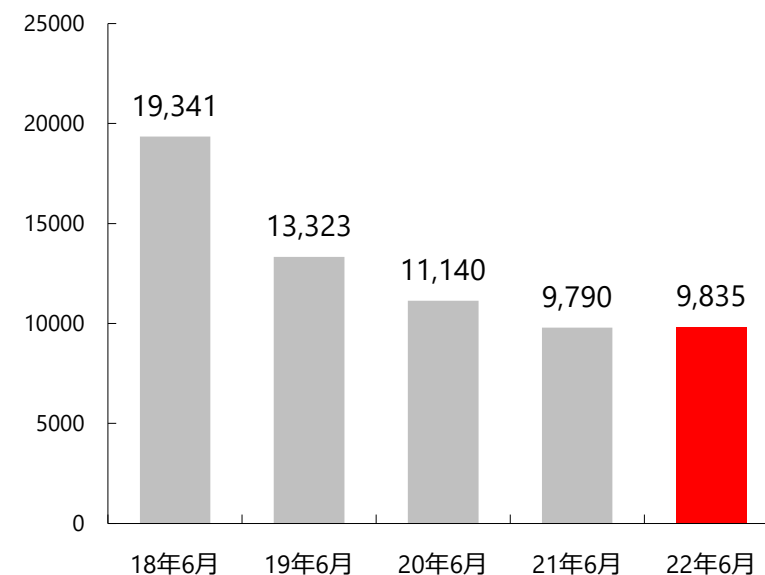
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社クリンゲル	2,272,600	15.81
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,726,800	12.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,532,600	10.66
鈴木従業員持株会	592,404	4.12
鈴木 教義	363,140	2.53
株式会社八十二銀行	310,000	2.16
小島 まゆみ	208,000	1.45
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	204,799	1.43
高野 忠和	196,600	1.37
株式会社商工組合中央金庫	160,000	1.11
鈴木 照子	160,000	1.11

※持株比率は、自己株式(32,575株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率 (%)
個人・その他	9,659	6,931,688	48.12
金融機関	14	3,856,300	26.77
その他法人	67	2,803,815	19.46
外国法人等	71	659,334	4.58
金融商品取引業者	23	120,688	0.84
自己株式	1	32,575	0.23

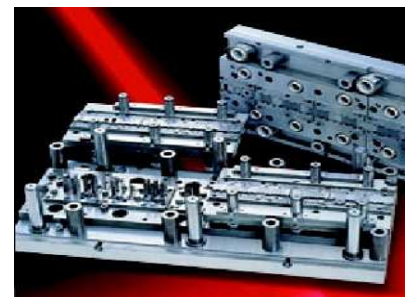
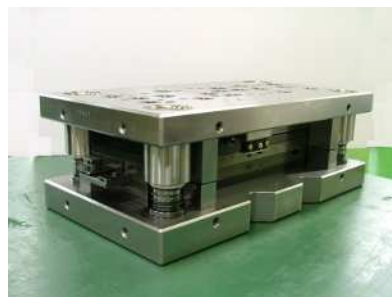
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

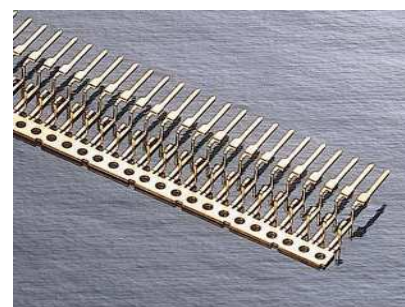
売上構成比：6.6 %



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：68.4 %



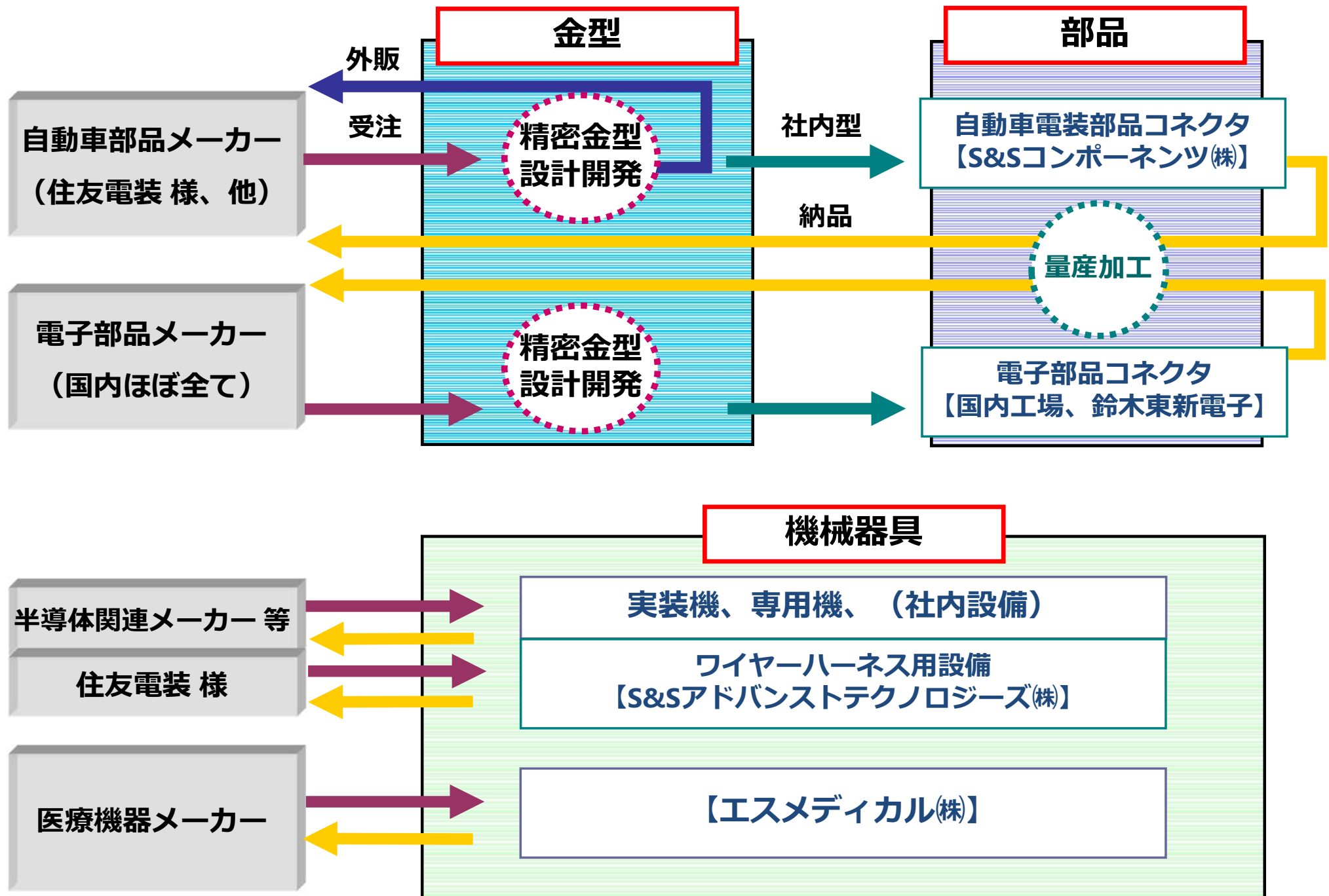
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：25.0%

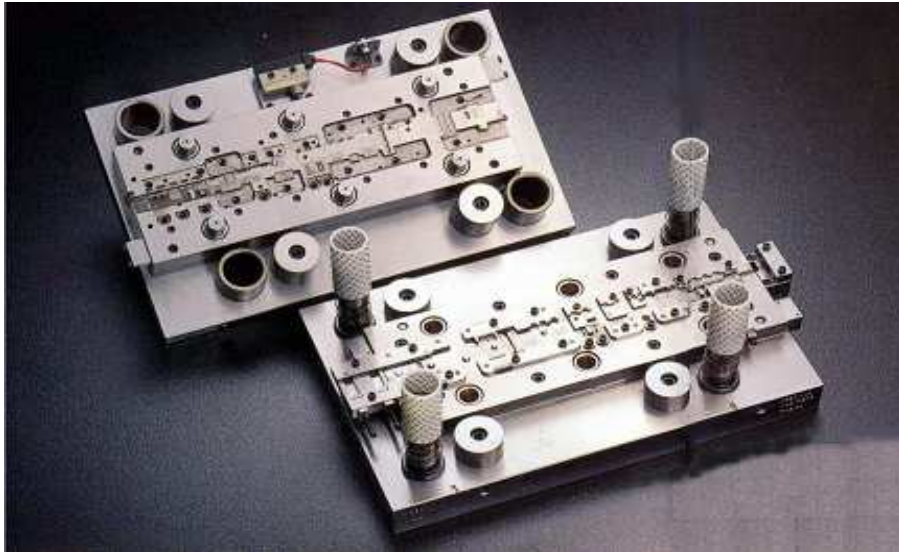


※ 売上構成比：2022年6月末現在



「金型」

精密コネクター金型の外観（上下別、全体）



「プレス加工」

一般的な圧着端子の加工レイアウト



1ピッチずつ順送りして、抜き・曲げ等のプレス加工を行う